

令和 元 年度

# 決 算 報 告 書

第16期事業年度

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

国立大学法人香川大学

## 令和元年度 決算報告書

国立大学法人香川大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	10,505	10,830	325	(注1)
うち補正予算による追加	-	-	-	
施設整備費補助金	618	617	△ 1	(注2)
うち補正予算による追加	-	-	-	
補助金等収入	129	403	274	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	38	38	-	
自己収入	24,056	24,384	327	
授業料、入学料及び検定料収入	3,876	3,835	△ 41	(注4)
附属病院収入	19,859	19,994	136	(注5)
雑収入	322	554	232	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	1,628	1,725	97	(注7)
引当金取崩額	233	226	△ 6	(注8)
長期借入金収入	720	718	△ 2	(注9)
目的積立金取崩額	100	41	△ 59	(注10)
計	38,027	38,982	955	
支出				
業務費	34,044	34,375	331	
教育研究経費	14,216	14,107	△ 109	(注11)
うち補正予算にかかる授業料免除事業	-	-	-	
診療経費	19,828	20,269	441	(注12)
施設整備費	1,376	1,373	△ 3	(注13)
補助金等	129	391	262	(注14)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	1,628	1,476	△ 151	(注15)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	850	818	△ 32	(注16)
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	38,027	38,434	407	
収入-支出	-	548	548	

※上記の金額は、すべて百万円未満四捨五入で表示している。

## ○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予算段階では予定していなかった国の補正予算における国立大学法人の行う退職手当等事業に伴う特別運営費交付金が交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が325百万円多額となっている。
- (注2) 施設整備費補助金については、工事計画の変更等により、決算金額が1百万円少額となっている。
- (注3) 補助金等収入については、補助金獲得額の増加により、予算金額に比して決算金額が274百万円多額となっている。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、学納金免除等の新制度導入等により、予算金額に比して決算金額が41百万円少額となっている。
- (注5) 附属病院収入については、外来患者数の増加等に伴う収入増により、予算金額に比して決算金額が136百万円多額となっている。
- (注6) 雑収入については、科学研究費補助金間接経費受入額の増等により、予算金額に比して決算金額が232百万円多額となっている。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、民間等からの寄附金の受入額の増により、予算金額に比して決算金額が97百万円多額となっている。
- (注8) 引当金取崩額については、対象者の減少等により、予算金額に比して決算金額が6百万円少額となっている。
- (注9) 長期借入金収入については、事業計画の変更等により、予算金額に比して決算金額が2百万円少額となっている。
- (注10) 目的積立金取崩額については、事業計画の変更等により、予算金額に比して決算金額が59百万円少額となっている。
- (注11) 経費の節減等に努めたため、予算金額に比して決算金額が109百万円少額となっている。
- (注12) 外来患者数等の増加による診療経費の増加等により、予算金額に比して決算金額が441百万円多額となっている。
- (注13) 注2及び注9に示した理由により、予算金額に比して決算金額が3百万円少額となっている。
- (注14) 注3に示した理由により、予算金額に比して決算金額が274百万円多額となっている。
- (注15) 産学連携等研究経費の受入額の減少に伴う支出額の減少等により、予算金額に比して決算金額が151百万円少額となっている。
- (注16) 長期借入金償還金については、借入金利率の見直し等により、予算金額に比して決算金額が32百万円少額となっている。